令和８年度　練馬区立大泉第一小学校
授業改善推進プラン

【第1学年】

【授業外の学び】
〇ぐんぐんタイムの実施
〇計算練習・言語習熟プリントの実施（朝学習）
〇教師による読み聞かせ、読書（朝・帰りの会等）

【課題分析】
〇知識・技能が定着しない児童がいる。
〇学習の習慣が身に付いていない児童がいる。
〇自分の考えを適切に表現することができない児童がいる。
〇他者と話し合い、考えを深めることができない児童がいる。

【進捗状況】
・五十音の表（ひらがな・かたかな）や言語知識を問う小テストを定期的に行い、定着しつつある
・具体物（百玉そろばん、ブロック）を繰り返し操作させることで量感を養ってきた。

【単元計画の工夫】
・楽しそう、やってみたいという興味を引き出す導入や体験活動を取り入れる。
・学習の見通しをもたせる。

【他者との関わり方の工夫】
・友達と学ぶ喜びを共有する。
・班やペアでの調査、活動を行う。
・教師や地域の方々との関わりを増やす活動を行う。

【他教科・他活動との関連】
・地域の教育資源を活用する。
・季節を楽しみながら、食育や生活科、教科横断的な視点で指導する。

≪知識・技能の定着を目指した指導の工夫≫

個に応じた指導

国語
・絵と言葉を結びつけたり、ＭＩＭの活用
・文章を書く活動の際、具体的な例文の提示

生活
・観察活動時における、体験活動の充実
・児童の興味、関心に合わせた課題の設定
・試行錯誤を繰り返す活動の設定

算数
・個別指導の実施
・習熟に合わせたワークシートや適用問題の準備
・数図ブロックや百玉そろばんを繰り返し使用

体育
・めあての達成に向けた練習方法の選択

音楽
・めあての達成に向けた練習方法の提示
・曲を鑑賞する視点の選択

図工
・出来てきた色、形からイメージを広げられる場の設定

≪児童の興味・関心に応じた学び≫

【単元末、既習事項を活用した新たな課題や表現活動の設定】

国語：「こんなことがあったよ」
　　夏休みにあったことを思い出し、絵日記に書く。
算数：「かたちづくり」
　　図形の特徴を捉えたり、色々な形を構成・分解したりして表現する。
生活：「きせつとなかよし（秋）」
　　木の実や葉を使っておもちゃを作り、友達と楽しむ。
図工：「ぐるぐるアート」
　　絵の具でらせん状の線をぐるぐると描く活動から、つくりたいものを見つけて自分なりに表現する。
音楽：「ねこのなきごえであそぼう」（音楽づくり）
　　声での音遊びを通して様々な発想を得たり、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽を創ったりする。

【生活科】
・児童の興味・関心に応じた課題を設定し、学習を深めたり、広げたりしていく。

多様な他者と協働する学び

（全教科の共通指導）

対話の技能の習得
・話し手　・聞き手

ICTの活用

【思考を深めさせるための手だて】
・ハンドサイン　・振り返りの場の設定
・少人数での話し合い　・多様な意見の尊重と活用　・雰囲気づくり

令和８年度　練馬区立大泉第一小学校
授業改善推進プラン

【第2学年】

【授業外の学び】
〇ぐんぐんタイムの実施
〇学級間を超えた大縄遊びやボール遊び、鉄棒遊びの実施（休み時間）

【課題分析】
〇知識・技能や学習の習慣が定着していない児童がいる。
〇すすんで体を動かさない児童がいる。
〇自分の考えを適切に表現することができない児童がいる。

【進捗状況】
・具体物を操作して量感を養い、学習を充実させる。
・児童の理解・技能度に応じた問題や課題を用意することで、それぞれが成長を感じられるようにしている。

【単元計画の工夫】
・児童の実態や興味・関心を出発点とし、生活と関連した問題場面を設定する。

【他者との関わり方の工夫】
・小グループでの意見交換や伝え合う機会を多くとる。
・ICTを効果的に活用する。

【他教科・他活動との関連】
・国語と生活科、図工など、教科横断的な視点で指導する。
・地域の施設や人材を積極的に活用する。

≪知識・技能の定着を目指した指導の工夫≫

個に応じた指導

国語
・文章を書く活動の際、具体的な例文の提示
・取り組む課題数の選択

算数
・学力向上支援講師と連携した個別指導の実施
・自分なりの解決方法で追究できる課題の提示
・取り組む課題数の選択

音楽
・自分のめあての達成に向けた練習方法の提示
・曲を鑑賞する視点の選択

生活
・観察活動時における、調べ活動の充実
（タブレットや本の利用）
・児童の興味、関心に合わせた課題の設定
・生活科室の充実

体育
・めあての達成に向けた練習方法の選択

図工
・出来てきた色、形からイメージを広げられる場の設定

≪児童の興味・関心に応じた学び≫

【単元末、既習事項を活用した新たな課題や表現活動の設定】

国語：「あったらいいな、こんなもの」
自分にとって「あったらいいな」と思うものの絵を描き、友達と質問し合うことで、その道具の特徴を詳しくまとめる。
算数：「どんな計算になるのかな?」
絵を見て、足し算や引き算の問題を作る。
図工：「カラフルにのばして」
絵の具をへらでのばす活動から、描きたいものや作りたいことを見つけて自分なりに表現する。
音楽：「おまつりの音楽をつくろう」（音楽づくり）
和太鼓を使って、一人一人が創ったリズムをつなげたり、重ねたりして発表し合う。

【生活科】
・児童の興味・関心に応じた課題を設定し、学習を深めたり、広げたりしていく。

多様な他者と協働する学び

（全教科の共通指導）

対話の技能の習得
・話し手　・聞き手

ICTの活用

【思考を深めさせるための手だて】
・振り返りの場の設定　・生活科室の充実
・少人数での伝え合い　・多様な意見の尊重と活用　・雰囲気づくり

令和８年度　練馬区立大泉第一小学校
授業改善推進プラン

【第3学年】

【授業外の学び】
〇ぐんぐんタイムの実施
〇朝読書

【課題分析】
〇知識・技能が定着していない児童が多い。
〇自分の考えを文章で表すことが苦手な児童が多い。
〇筋道を立てて考えることが苦手な児童が多い。
〇他者と話し合い、考えを深めることができない児童がいる。

【進捗状況】
・何度も繰り返し練習することや間違えたところを必ず直すことを徹底し、基礎的学力の定着へつなげている。
・自分と他者との考えを比べ、その良さを感じられるようになってきた。

【単元計画の工夫】
・単元を通して何を行うのかを提示し、ゴールをはっきりとさせる。
・身近な事象を提示する。

【他者との関わり方の工夫】
・多くの場面で児童の考えを称賛し、その良さに気付かせるとともに、活用させていく。

【他教科・他活動との関連】
・他教科で学習したことを振り返り、活用させる。
・地域の施設、人材を活用する。

≪知識・技能の定着を目指した指導の工夫≫

個に応じた指導

国語
・表現活動における条件の選択
（字数、時間等の制限、伝える相手など）
・教材を読み取る視点の選択

算数
・算数少人数と連携した習熟度別指導の実施
・習熟に合わせたワークシートや適用問題の準備
・自分なりの解決方法で追究できる課題の提示

音楽
・自分のめあての達成に向けた練習方法の提示
・曲を鑑賞する視点の選択

理科
・多様な仮説が立てやすい学習問題（問い）の設定
・観察、実験計画の立案や選択

社会
・多様な考えが立てやすい学習問題の設定
・調べる活動における調査方法の選択

体育
・自分のめあての達成に向けた練習方法の選択

図工
・色や形から自分なりのイメージを広げる場の設定

≪児童の興味・関心に応じた学び≫

【単元末、既習事項を活用した新たな課題や表現活動の設定】

国語：「もっと知りたい、友だちのこと」
日常生活の中から話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶ。
算数：「□を使って場面を式に表そう」
問題場面を捉え、□が何を表しているのかを考えるとともに、□を使った式が成り立つ問題を作成する。
理科：「物の重さ」
物の性質について、相違点や共通点を基に問題を見いだし、話し合う。
社会：「まちの人々の仕事」
それぞれの店の工夫や学習を通して分かったこと、考えたことを新聞にまとめ、発表する。
図工：「ボンドアート」
ボンドと絵の具やクレヨンを組み合わせて描く活動から、作りたいことを見つけて表現する。
音楽：「音のひびきや組み合わせを楽しもう」（音楽づくり）
木・金属・皮など、材質がもつ音の響きや特徴に気付きながら、即興的に表現し聴き合う。

【総合的な学習の時間】
・児童の興味・関心に応じた課題を設定し、学習を深めたり、広げたりしていく。

多様な他者と協働する学び

（全教科の共通指導）

対話の技能の習得
・話し手　・聞き手

ICTの活用
意見交流・グループ活動

【思考を深めさせるための手だて】
・多様な意見の尊重と活用　・雰囲気づくり
・思考ツールの活用　・振り返りの場の設定

令和８年度　練馬区立大泉第一小学校
授業改善推進プラン

【第4学年】

【授業外の学び】
〇ぐんぐんタイムの実施
〇朝読書

【課題分析】
〇知識・技能が定着していない児童が多い。
〇文章を読み解く力を身に付ける必要がある。
〇自分の考えを適切に表現することができない児童がいる。
〇他者と話し合い、考えを深めることができない児童がいる。

【進捗状況】
・間違えたところは必ず直すことを徹底し、知識・技能の定着へ繋げている。
・提示されたキーワードを使いながら、分かったことを自分の言葉で表現する経験を積み重ねている。

【単元計画の工夫】
・小単元ごとの振り返りを行う。
・新たな課題の発見ができるような単元計画にする。
・実生活に根ざした問題を設定する。

【他者との関わり方の工夫】
・ICTを活用し、多くの考えに触れさせる。
・良い考えを賞賛し、その良さに気付かせ活用させる。

【他教科・他活動との関連】
・地域の教育資源を積極的に活用する。
・教科横断的な視点をもって学習を進めていく。

≪知識・技能の定着を目指した指導の工夫≫

個に応じた指導

国語
・表現活動における条件の選択
（字数、時間等の制限、伝える相手など）
・教材を読み取る視点の選択

算数
・算数少人数や学力向上支援講師と連携した習熟度別指導の実施
・習熟に合わせたワークシートや適用問題の準備
・自分なりの解決方法で追究できる課題の提示

音楽
・自分のめあての達成に向けた練習方法の選択
・曲を鑑賞する視点の選択

理科
・多様な仮説が立てやすい学習問題（問い）の設定
・観察、実験計画の立案や選択

社会
・多様な考えが立てやすい学習問題の設定
・調べる活動における調査方法の選択

体育
・自分のめあての達成に向けた練習方法の選択

図工
・色や形から自分なりのイメージを広げる場の設定

≪児童の興味・関心に応じた学び≫

【単元末、既習事項を活用した新たな課題や表現活動の設定】

国語：「中心となる語や文を見つけて要約し、調べたことを書こう」
自分で調べたい伝統工芸を決めて調べ、説明文の学習で学んだことを生かして表現する。
算数：「４年の復習」
学習内容を振り返りながら自分たちで問題を作り、互いに解き合う。
理科：「電流のはたらき」「とじこめた空気や水」
学習した電流のはたらき、空気や水の性質を利用して、おもちゃを作る。
社会：「水害からくらしを守る」
学習したことを基にして、他地域や他の災害における対策について調べ、発表し合う。
図工：「モダンアート」
モダンテクニックからどんな絵が描けるかイメージを広げ、表現する。
音楽：「音階をもとにして音楽を創ろう」（音楽づくり）
沖縄の音階を基にして、グループで音楽を創り、発表し合う。

【総合的な学習の時間】
・児童の興味・関心に応じた課題を設定し、学習を深めたり、広げたりしていく。

対話の技能の習得
・話し手　・聞き手

多様な他者と協働する学び

（全教科の共通指導）

ICTの活用
意見交流・グループ活動

【思考を深めさせるための手だて】
・多様な意見の尊重と活用　・雰囲気づくり
・思考ツールの活用　・振り返りの場の設定　・ジグソー学習の実施

令和８年度　練馬区立大泉第一小学校
授業改善推進プラン

【第5学年】

【授業外の学び】
〇ぐんぐんタイムの実施
〇家庭学習の充実

【課題分析】
〇知識・技能が定着していない児童が多い。
〇学習の習慣が身に付いていない児童がいる。
〇自分の考えを適切に表現することができない児童がいる。
〇他者と話し合い、考えを深めることができない児童がいる。

【進捗状況】
・習熟度別指導(算数)の実施により、成果が感じられる。
・探究的な学びに慣れ始めたことで、子供主体で探究サイクルが回るようになってきた。

【単元計画の工夫】
・航海と冒険をイメージした「大一探Qマップ」を活用した探究的な学びを取り入れる。

【他者との関わり方の工夫】
・学びが深まる発言、行動等を見取り、全体に共有・価値付けていく。

【他教科・他活動との関連】
・地域人材を積極的に活用する。
・教科横断的な単元計画の立案や実施、改善を積極的に行っていく。

≪知識・技能の定着を目指した指導の工夫≫

個に応じた指導

国語
・表現活動における条件の選択
　（字数、時間等の制限、伝える相手など）
・教材を読み取る視点の選択

算数
・算数専科と連携した習熟度別指導の実施
・習熟に合わせたワークシートや適用問題の準備
・自分なりの解決方法で追究できる課題の提示

音楽
・自分のめあての達成に向けた練習方法の立案
・曲を鑑賞する視点の選択

理科
・多様な問いを立てやすい学習問題の設定
・観察、実験計画の立案や選択

社会
・多様な考えが立てやすい学習問題の設定
・調べる活動における調査方法の選択

体育
・自分のめあての達成に向けた練習方法の選択

図工
・いろいろな材料や用具からつくりたいもの、表したいことを広げて選択

≪児童の興味・関心に応じた学び≫

【単元末、既習事項を活用した新たな課題や表現活動の設定】

国語：「みんなが使いやすいデザイン」
　一人一人が興味をもったユニバーサルデザインについて調べ、報告文を書き、友達と読み合う。
社会：「自動車の生産にはげむ人々」
　学習してきたことを基に、これからの自動車生産について考えたことをまとめ、表現する。
算数：「割合」「帯グラフと円グラフ」
　身の回りの事象について、統計的に解決可能な課題を設定し、既習事項を生かして問題解決する。
理科：「台風と防災」
　実際に進路を予想したり、自分の家や地域の備えについて話し合ったりする。
図工：「私のお店」
　電動糸のこぎりなどで出来る曲線や細かな形、いろいろな素材からイメージを広げて表現する。
音楽：「〈ずれ〉の音楽を楽しもう」（音楽づくり）
　2人の演奏者が時間をずらして演奏する音楽を創り、発表し合う。

【総合的な学習の時間】
・児童の興味や関心、できることに応じた課題を設定し、学習を深めたり、広げたりしていく。

多様な他者と協働する学び

（全教科の共通指導）

対話の技能の習得
・話し手　・聞き手

ICTの活用

【思考を深めさせるための手だて】
・思考ツールの活用　・沈黙の時間の設定　・振り返りの場の設定
・ジグソー学習の実施　・多様な意見の尊重と活用　・雰囲気づくり

令和８年度　練馬区立大泉第一小学校
授業改善推進プラン

【第6学年】

【授業外の学び】
〇ぐんぐんタイムの実施
〇復習プリントの実施（宿題等）
〇家庭学習、および学習習慣の定着（宿題等）

【課題分析】
〇知識・技能が定着していない児童が多い。
〇自分の考えを適切に表現することができない児童がいる。
〇既習事項を活用しながら課題解決を行うことが難しい。
〇話し合いながら考えを深めていく場面の設定が必要である。

【進捗状況】
・ICTを積極的に活用した授業を行ってきたことで、着実に情報活用能力が身に付いてきた。
・児童同士の交流を増やすことで、知識の定着や多様な見方・考え方に触れることができるようになってきている。

【単元計画の工夫】
・児童の実態に合った教材や、児童の実生活と関連づけた学習問題を設定する

【他者との関わり方の工夫】
・できたことに対して称賛の言葉がけを行う。
・問いをもたせる発問を行う。

【他教科・他活動との関連】
・授業開始時に前時の活動を振り返ったり、既習問題に取り組んだりする時間を設定する。

≪知識・技能の定着を目指した指導の工夫≫

個に応じた指導

国語
・表現活動における条件の選択
（字数、時間等の制限、伝える相手の設定など）
・教材を読み取る視点の選択

算数
・算数少人数と連携した習熟度別指導の実施
・習熟に合わせたワークシートや適用問題の準備
・自分なりの解決方法で追究できる課題の提示

音楽
・自分のめあての達成に向けた練習方法の立案
・曲を鑑賞する視点の選択

理科
・結論に正対した学習問題の設定
・観察、実験計画の立案や選択

社会
・多様な考えが立てやすい学習問題の設定
・調べる活動における調査方法の選択

体育
・自分のめあての達成に向けた練習方法の選択

図工
・自分の感覚や表現方法での様々な材料や用具の選択

≪児童の興味・関心に応じた学び≫

【単元末、既習事項を活用した新たな課題や表現活動の設定】

国語：「デジタル機器と私たち」
デジタル機器の付き合い方について自分たちにできることはないか考え、提案文を書く。
算数：「データの調べ方」
統計的な問題解決の方法について理解し、データのよいところを生かした表を作る。
理科：「電気と私たちのくらし」
電気の性質や働きを生かして目的に応じたプログラムを作り、動作を確かめる。
社会：「世界の中の日本」
身の回りの物や資料を基にして自分なりの根拠をもち、日本と繋がりの深い国を調べ、まとめる。
図工：「オリジナルランプシェード」「〇〇時計」
今まで使用した材料や用具を活用して、表したいことを自分なりのやり方で表現する。
音楽：「役割を決めて音階を基にした音楽を創ろう」（音楽づくり）
異なる役割のパートを重ね、即興的に旋律が呼びかけ合う音楽を創り、発表し合う。

【総合的な学習の時間】
・児童の興味や関心、できることに応じた課題を設定し、学習を深めたり、広げたりしていく。

多様な他者と協働する学び

（全教科の共通指導）

対話の技能の習得
・話し手　・聞き手

ICTの活用

【思考を深めさせるための手立て】
・思考ツールの活用　・沈黙の時間の設定　・振り返りの視点の設定
・ジグソー学習の実施　・多様な意見の尊重と活用　・適切な資料の提示